

2025 年 8 月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	38,666,036	37,141,325	104.1%
国内旅行	7,684,410	7,359,998	104.4%
訪日旅行	895,480	921,728	97.2%
合 計	47,245,927	45,423,052	104.0%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ 5 社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。

■ 海外旅行

8 月 1 日より「秋の旅フェスティバル 2025」を開催。間際に加え、秋の連休や最大 9 連休となる年末年始の集客を強化すべく、「新パスポート取得サポートキャンペーン」や旅の目的に合わせた特典・割引クーポン等も提供しました。また、出国のピークを迎える 8 月出発において、国内主要都市よりカンボジアやベトナム、モンゴルへのチャーター便を展開するなど、独自の商品展開で需要創出を図りました。

取扱高においては、欧州方面が前年同月比で 125%と好調を維持し、全体を牽引しました。ハワイ・ミクロネシア方面は、個人旅行が前年同月比 114%と堅調に推移しましたが、前年に取扱高を大きく牽引した大型団体旅行の反動もあり、全体では前年同月比 93%となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比 104%の 386 億 6,603 万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	前年同月比
アジア	97.2%
オセアニア・南太平洋	110.1%
ハワイ・ミクロネシア	93.0%
欧州・中近東・アフリカ	124.6%
北米・中南米	102.0%

商品別	前年同月比
手配旅行	97.9%
企画旅行	119.0%

チャネル別	前年同月比
店舗	114.2%
オンライン	108.9%

■ 国内旅行

8 月よりタレントの ROLAND さんを HIS 公式沖縄アンバサダーとして起用し、オールインクルーシブ従来の全食事付きプランに捉われず、ニーズにあわせて選べる食事プランを「NEW オールインクルーシブ」として新たに展開し、沖縄旅行の需要喚起を図りました。

取扱高においては、牽引する沖縄本島において、北部の「やんばるの森」にオープンしたテーマパークのチケットを組み込んだツアーが夏休みのレジャー需要を押し上げ、前年同月比102%となりました。また、航空券とホテルを組み合わせた「ダイナミックパッケージ」が、前年同月比 114%と引き続き堅調に推移しました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比104%の 76 億 8,441 万円となりました。

■ 訪日旅行

HIS オランダ法人をはじめとする欧州からのスクールホリデー需要も獲得し、前年同月比 113%と全体の取扱高を牽引しました。また、北米からの団体シリーズ旅行の受け入れが、前年同月比 115%と引き続き好調に推移しました。地域別では、地方への誘客と分散化を促進するため、マレーシアのコタキナバルから広島、ベトナムのハノイから新潟へのチャーター便を利用したツアー受客の強化を図りました。

グループ会社のジャパンホリデートラベルでは、日本の夏の風物詩である花火大会を観光資源として活用し、8 月だけで長岡花火をはじめとする 7 つの花火関連商品を展開。これにより、FIT（個人旅行）商品の販売は好調であったものの、主要マーケットであるアジア圏からの団体ツアー需要が低迷したため、前年同月比を下回る結果となりました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比97%の 8 億 9,548 万円となりました。

2025 年 8 月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比104%の 472 億 4,592 万円となりました。

2025 年 8 月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
インバウンド	19,783,796	19,078,082	103.7%
アウトバウンド	9,622,733	11,746,107	81.9%
合 計	29,406,530	30,824,189	95.4%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 32 社と海外子会社 4 ブランド（MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS）の社内取引相殺前の取扱高となります。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

※HIS 欧州現地法人の一部と MIKI グループとの統合により調整後の取扱高を反映しております。

■海外インバウンド

8 月 1 日、南米の主要観光地であるペルーにリマ支店を開設しました。マチュピチュ、クスコ、ナスカの地上絵など豊富な観光資源に恵まれたペルーで、日本からの旅行者に加え、今後はグローバルなインバウンド市場にむけて事業を展開する予定です。

取扱高においては、ドイツでは 2025 年 7 月に世界遺産に登録されたノイシュバンシュタイン城を含むツアーや高付加価値商品であるプライベートツアーの販売が好調に推移し、前年同月比 136%となりました。フィリピンでは、お盆の時期に合わせた中部発セブ島行きのチャーターフライトの就航や、家族向けホテルの販売が取扱高に貢献し、前年同月比 121%で着地しました。カナダでは、夏にベストシーズンを迎えるバンフに加え、バンクーバー、トロントへの安定的な受客により、前年同月比 107%と堅調に推移しました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 103%の 197 億 8,379 万円となりました。

■海外アウトバウンド

フランスでは、金沢を含む日本の主要都市を巡るツアーや、アテネやキクラデス諸島を巡るギリシャ行きのツアー、国立公園やビーチを巡るケニア行きのツアーなど、多様な商品が現地の需要を捉え、取扱高は前年同月比 152%の伸びをみせました。アメリカでは、燃油サーチャージの値下がりにより、日本行きのレジャー団体旅行が増加したことに加え、業務渡航におけるホテルやレンタカーなどの旅行商材の販売も好調に推移し、前年同月比 147%となりました。

一方、取扱高を大きく牽引するカナダでは、大口の法人契約終了に伴う取引高の減少が影響しているものの、カリブ海やメキシコへの継続的な需要を取り込み、前年同月比 90%で着地しました。なお、これまでトルコ法人が担っていた海外アウトバウンド取扱高の構成比約 1 割について、8 月より同法人のアウトバウンド事業の大幅な縮小に伴い、今後減少する見込みです。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 81%の 96 億 2,273 万円となりました。

2025 年 8 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 95%の 294 億 653 万円となりました。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R 室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177